

## &lt;目次&gt;

## ●チェンジ川崎をめざし、市民大運動スタート集会開催

## ■巨大物流倉庫の計画中止を求めて住民が大集会

## ▲ お知らせコーナー

☆9/22「やさしく強い経済学」講師・大門実紀史

☆10/10台風19号多摩川水害「3周年フォーラム」

☆10/27 ゆめシネマ「ウクライナと戦争を考える日」

## ★ 編集後記

## ●チェンジ川崎をめざし、市民大運動スタート集会開催

9月3日、かわさきゆめホールに45名、オンラインで16名、合わせて51名が参加し、川崎市民大運動スタート集会が開かれました。

前日の2日に市議会が開会し、福田市長が「小児医療費助成制度」は「市民や議会から要望が寄せられている」「来年度中の拡充に向けて検討」と表明したことが話題になりました。

子ども医療費拡充の運動を続けてきた野末明美さん（新日本婦人の会高津支部）は、「川崎は、東京、埼玉、千葉、神奈川の212自治体の中で、<6年生で助成ストップ、所得制限あり、窓口負担あり>のトリプルワーストになっている。

これほど遅れている現状を多くの市民に知ってもらい、市議会で継続審議中の請願を採択させるために、2万筆の追加署名を成功させたい。」と力強く発言しました。

昨年10月の川崎市長選挙は小児医療費助成制度の拡充が大争点になり、市古候補と川村候補は、中学卒業まで医療費無料化を公約、一方、福田候補（現市長）は言明をさけました。

あれから1年、ついに、市民の声が市議会と市長の変化を生み出したのです。

討論では、「<厳しい財政事情>を口実に所得制限や窓口負担を維持する可能性が強い。市民の声を大きく広げ、議会を動かし、川崎市のトリプルワーストを返上させる。」方向で運動を進めることを確認しました。

さらに、要求実現をめざす署名や集会などを計画している10を超える団体からの発言が続きました。（詳しくは、「新しい川崎」のホームページで紹介します。）

また、大学4年生のAさんは自分の体験を訴えました。

「学生生活を精神的に不安なく送れるようにしてほしい。学費の減額や返済不要の奨学金を望みます。

私は一人暮らしの際、生活費がおおよそ月10万円かかりました。

利子付きの奨学金を月5万円借り、バイトで5万円ほど稼ぐ必要があり、正直辛かった。

バイトと大学の課題の優先順位がごっちゃになって精神的に不安定になりました。そして卒業するころには約247万円の借金を負う事になります。

大学進学を個人や家族の責任とするのではなく、社会全体で支えあう仕組みになってほしい。」

集会の最後に、川崎の南から北までの運動をつなぐネットワークとして、「新しい川崎」のメルマガ(現在176件・目標1000)とホームページを積極的に活用していくことを確認しました。

読者のみなさん、ぜひ、記事やイベント紹介を投稿してください。

mailmag@newkawasaki.jp

## ■巨大物流倉庫の計画中止を求めて住民が大集会

9月4日、「西加瀬プロジェクト(巨大物流センター建設)を考える学習会」が、川崎市平和館の屋内広場で開催されました。

このプロジェクトは、大和ハウスが住宅地のど真ん中に365日24時間フル稼働の巨大物流倉庫を建設しようとするものです。

これに対し、地元住民は「巨大物流倉庫を考える住民の会」を作り、建設中止を目標に運動を続けてきました。

この日の集会には、中原区内や他の区から104の方が集まりました。

集会では、代表による経過説明と、新横浜に建設中の物流倉庫見学の写真や映像を使った報告、住民の声の紹介の後、交流会に入り、地元住民からの中止を求める発言が続きました。

今回の計画で、物流センター2階以上の階にいく上りランプが造られる近くの住民は「トラックが6階まで上っていくときの騒音や排気ガス、振動が心配。」

「完成すれば、わが家の日照はゼロになる。」「これからも住めるか住めないかの問題、生きるか死ぬかの問題だ。」「毎日が憂鬱。望むことは中止しかない」と不安と怒りの声をあげました。

発言では、1300 台以上の車両が在庫し通過する荻宿小田中線への影響が多く指摘されました。

住吉中学や荻宿小に通学する多くの生徒がこの道路を渡ります。  
また、道路沿いには、子ども文化センターや老人いこいの家があり、交通事故が心配です。

住吉地域は、長い年月をかけて、住民と川崎市が環境をよくすることに努力し、平和公園や渋川の整備など住環境の改善を進めてきたのです。  
今回の大和ハウスの計画は、長年の住民の努力を台無しにするものです。  
本来なら、川崎市も計画の再検討を求めるべきなのです。

集会での意見交換をふまえて、「住民の会」は、中止を求める請願署名を 1 万筆集めることを提案しました。

また、川崎市への請願書名と同時に、大和ハウスに中止を求めるオンライン署名も急きよ開始して協力をよびかけました。

この計画は、建設地周辺の住宅環境を劇的に悪化させます。同時に、川崎市政が、住民の生活を守ることより、物流大資本の利益を優先する都市づくりに転換することにつながります。

全市民の共同の力で、大企業である大和ハウスの計画の中止と見直しを求めていきましょう。

オンライン署名にご協力ください。そして拡散をお願いします。

<https://qr.paps.jp/7f6fx>

## ▲ お知らせコーナー

### ☆「やさしく強い経済学」講師・大門実紀史

9月22日(木)18時30分

総合自治会館

<https://onl.bz/Sr3hEtc>

### ☆台風19号多摩川水害「3周年フォーラム」

10月10日(月祝)18時30分

総合自治会館

「水害対策の現状と課題」

講師：中山幸男

<https://onl.bz/9zMsW4p>

### ☆ゆめシネマ「ウクライナと戦争を考える日」2本立て+講演

「ピアノ・ウクライナの尊厳を守る闘い」

<https://ukraine-piano.com/>

## 「ドンバス2016」

<https://www.chosyu-journal.jp/review/23294>

講演：(講師交渉中)「即時停戦が市民を救う」(仮)

10月27日(土)時間未定(映画は午前午後1回ずつ)

かわさきゆめホール

入場料：一般 1000 円 障がい者 500 円 学生以下 200 円

当日 100 円増

申込み：044-433-3003

[cinema@kawasakiyume.com](mailto:cinema@kawasakiyume.com)

(9/17 は都合により中止となりました。)

## ★ 編集後記

日刊ゲンダイによれば、

“ビッグネーム”は軒並み不参加——。

9月27日に行われる安倍元首相の国葬は、米国のバイデン大統領、フランスのマクロン大統領に続き、訪日を検討中と伝えられていたドイツのメルケル前首相も参列を見送ることが分かった。

各国に宛てたご招待の回答期限 8月中旬だったが、8月末を過ぎても多くの国から回答が無く、外務省は青ざめていると言います。

ここまで人気の無い国葬に参加をためらうのも当然。安倍国葬の目玉であった弔問外交が破綻するかも。

一番青くなっているのは、憲法違反の国葬儀をぶち上げた岸田首相でしょう。

外交に強い(?)と言われる岸田首相は、弔問外交で手腕を発揮し、国民の人気挽回を目論み、同時に安倍派へ気遣いでした。

統一協会問題がここまで燃え上がるとは思って居なかったのでしょう。

そして本命は安倍氏と協会の深い関係。

魑魅魍魎があぶり出されれば、安倍派も安泰とは行かないでしょう。

海外に恥をさらす前に、国葬は断念するのが賢明です。(Y)

<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/life/310859>